

# Sun Java Enterprise System 6 のイン ストール

2009年4月

このドキュメントは、Java ES チームによって管理されています。

このドキュメントでは、Java ES の中核的オファリングである Sun Java™ Enterprise System (Java ES) 6 Base 製品のインストールについて説明しています。そのほかの Java ES 6 のオファリング (たとえば、各種の Java ES スイートなど) については、[sun.com/software/javaenterprisesystem](http://sun.com/software/javaenterprisesystem) を参照してください。

このドキュメントは必要に応じて更新されます。これらの更新については、「8 ページの「改訂履歴」」を参照してください。このドキュメントの最新バージョンは、[docs.sun.com/coll/1286.4](http://docs.sun.com/coll/1286.4) の Java ES 6 ドキュメントコレクションにあります。

このドキュメントでは、次のトピックを取り上げます。

- 2 ページの「Java ES 6 ソフトウェアの入手」
- 2 ページの「Java ES 6 の推奨インストール手順」
- 3 ページの「Solaris Cluster ソフトウェアのインストール」
- 4 ページの「Solaris Cluster Geographic Edition ソフトウェアのインストール」
- 4 ページの「Directory Server Enterprise Edition のインストール」
- 5 ページの「Web Server のインストール」
- 5 ページの「Message Queue のインストール」
- 6 ページの「GlassFish Enterprise Server のインストール」
- 6 ページの「Web Proxy Server のインストール」
- 6 ページの「OpenSSO Enterprise のインストール」
- 7 ページの「GlassFish Web Space Server のインストール」
- 7 ページの「Java ES 6 のドキュメント」
- 7 ページの「マニュアル、サポート、およびトレーニング」
- 8 ページの「Sun 製品資料の検索」
- 8 ページの「第三者の Web サイト参照」
- 8 ページの「このマニュアルに関するコメント」

## Java ES 6 ソフトウェアの入手

Java ES 6 ソフトウェアは、[sun.com/software/javaenterprisesystem/getit.jsp](http://sun.com/software/javaenterprisesystem/getit.jsp) で無償ダウンロード版としても、注文可能な CD/DVD メディアのキットとしても提供されています。

Java ES 6 ソフトウェアは、サポートや補償が不要であれば、無償でご利用いただけます。本稼働環境での実行中に必要とされるサポートや補償を取得する場合は、Java ES のサブスクリプションを購入してください。Java ES のサブスクリプションで提供される利用可能なサポートおよびサービスの計画については、[sun.com/software/javaenterprisesystem/support.jsp](http://sun.com/software/javaenterprisesystem/support.jsp) を参照してください。

## Java ES 6 の推奨インストール手順

Sun では、単一のシステム上にインストールするか、または複数のシステムを構成するアーキテクチャーを配備するかに関係なく、Java ES 6 Base の製品を次の手順でインストールすることをお勧めしています。[Sun Java Enterprise System 6 製品の相互運用性](#) で説明されているように、この手順は Java ES Base の製品間の必須および任意の依存関係に基づいて作成されています。

### 1. Solaris Cluster ソフトウェア

Solaris Cluster 環境で稼働している製品がある場合は、Solaris Cluster ソフトウェアをインストールしてから、Solaris Cluster サービスを使用する製品をインストールしてください。Solaris Cluster エージェントは、Solaris Cluster インストールの一部としてインストールする必要があります。

### 2. Solaris Cluster Geographic Edition ソフトウェア

Solaris Cluster Geographic Edition は、依存する対象の Solaris Cluster ソフトウェアを先にインストールしてから、インストールする必要があります。Solaris Cluster サービスを利用する製品がある場合は、その製品よりも先に Solaris Cluster Geographic Edition をインストールしておく必要があります。

### 3. Directory Server Enterprise Edition

いくつかの製品は、ユーザーデータまたは構成データを Directory Server に格納し、Directory Proxy Server を介して Directory Server へのアクセスを可能にしています。そのため、一般的には Directory Server Enterprise Edition をインストールしてから、Directory Server および Directory Proxy Server への依存関係を持つ製品をインストールする必要があります。

### 4. Web Server

多くの Java ES 製品は、Web コンテナのサポートを必要とします。そうした製品を先にインストールしてから、Web コンテナのサービスをインストールする必要があります。Web コンテナサービスは通常、Web Server または GlassFish Enterprise Server によって提供されます。ただし、その両方がアーキテクチャーに含まれている場合は、Web Server を先にインストールしてから GlassFish Enterprise Server をインストールする必要があります。

### 5. Message Queue

Java ES の配備に Message Queue に依存する製品が複数存在している場合は必ず、別途 Message Queue をインストールしてから、Message Queue に依存する製品をインストールしてください。GlassFish Enterprise Server が Message Queue に依存している場合にかぎり、Message Queue を別途インストールする代わりに、GlassFish Enterprise Server のインストールの一部としてインストールできます。これは、GlassFish Enterprise Server 2.1 に Message Queue が含まれているためです。

### 6. GlassFish Enterprise Server

Web Server を使用して GlassFish Enterprise Server インスタンス間の負荷分散サービスを実行する場合は、Web Server をインストールしてから GlassFish Enterprise Server をインストールしてください。また、非同期メッセージングサービスを提供するために Message Queue のシステム規模の配備を使用する場合は、GlassFish Enterprise Server にバンドルされている Message Queue インストールを使用する代わりに、Message Queue のインストールを完了したあと GlassFish Enterprise Server をインストールしてください。

### 7. Web Proxy Server

Web Proxy Server はいつでもインストールできますが、一般的に望ましいインストールのタイミングは、プロキシサービスを提供する対象の Web Server または GlassFish Enterprise Server のインストールが完了したあとです。

### 8. OpenSSO Enterprise

OpenSSO Enterprise のインストールのタイミングは、配備先となる Web コンテナをインストールし終えてから、OpenSSO Enterprise の認証および承認サービスを利用する製品をインストールするまでの間でなければなりません。

### 9. GlassFish Web Space Server

GlassFish Web Space Server は最後にインストールする必要があります。なぜなら、ほかの一部の Java ES 製品に対して必須または任意の依存関係を持つためです。

## Solaris Cluster ソフトウェアのインストール

Java ES 6 において Solaris Cluster 3.2 1/09 ソフトウェアは、パッケージベースのフォーマットで提供されます。このフォーマットは、次のプラットフォームに対応しています。

- Solaris 10 SPARC™ および x86 プラットフォーム版 (最小バージョン: Solaris 10 5/08)
- Solaris 9 SPARC プラットフォーム版 (最小バージョン: Solaris 9 9/05)

Solaris Cluster は統合型ハードウェアおよびソフトウェアのソリューションであるため、ソフトウェア自体をインストールする際は事前に Solaris Cluster の配備に関する慎重な計画が必要です。配備の計画については、次に挙げる Solaris Cluster マニュアルを参照してください。

- 『『Sun Cluster Overview for Solaris OS』』
- 『『Sun Cluster Concepts Guide for Solaris OS』』
- 『『Sun Cluster 3.1 - 3.2 Hardware Administration Manual for Solaris OS』』
- 『『Sun Cluster Software Installation Guide for Solaris OS』』

- 『『Sun Cluster Data Services Planning and Administration Guide for Solaris OS』』

Solaris Cluster ソフトウェアのインストールについては、『『Sun Cluster Software Installation Guide for Solaris OS』』を参照してください。

特定の Solaris Cluster 構成のインストール/設定例については、『『Sun Cluster Quick Start Guide for Solaris OS』』を参照してください。

## Solaris Cluster Geographic Edition ソフトウェアのインストール

Java ES 6 において Solaris Cluster Geographic Edition 3.2 1/09 ソフトウェアは、パッケージベースのフォーマットで提供されます。このフォーマットは、次のプラットフォームに対応しています。

- Solaris 10 SPARC および x86 プラットフォーム版 (最小バージョン: Solaris 10 5/08)
- Solaris 9 SPARC プラットフォーム版 (最小バージョン: Solaris 9 9/05)

Solaris Cluster Geographic Edition ソフトウェアのインストールについては、『『Sun Cluster Geographic Edition Installation Guide』』を参照してください。

Solaris Cluster Geographic Edition の詳細については、『『Sun Cluster Geographic Edition Overview』』を参照してください。

## Directory Server Enterprise Edition のインストール

Java ES 6 において Directory Server Enterprise Edition (DSEE) 6.3.1 は、配布用 ZIP にパッケージ化されてファイルベースのフォーマットで提供されます。このフォーマットは、次のプラットフォームに対応しています。

- Solaris 10 (SPARC、32 ビット x86、Intel x64、 および AMD x64 プラットフォーム版)
- Solaris 9 (SPARC および x86 プラットフォーム版)
- Red Hat Enterprise Linux AS および ES 3.0 Update 4 (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- Red Hat Enterprise Linux AS および ES 4.0 Update 2 (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- SuSE Linux Enterprise Server 10 (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- SuSE Linux Enterprise Server 9 (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- Microsoft Windows 2000 Server SP4 および Advanced Server SP4
- Microsoft Windows 2003 Server Standard Edition SP2 および Enterprise Edition SP2

DSEE 6.3.1 は、バージョン 6.0 から 6.3 までの既知の問題を修正するメンテナンスリリースであるため、事実上 DSEE 6.3.1 のインストールは多段階の処理です。DSEE 6.3.1 のインストール手順は次のとおりです。

1. 『『Sun Java System Directory Server Enterprise Edition 6.3 Installation Guide』』の「To Install Directory Server Enterprise Edition 6.3 From Zip Distribution」の説明に従って、DSEE 6.3 をインストールします。
2. 『『Sun Java System Directory Server Enterprise Edition 6.3.1 Release Notes』』の「Upgrading Directory Server Enterprise Edition to 6.3.1 Using ZIP distribution」の説明に従って、インストールをバージョン 6.3.1 にアップグレードします。
3. 『『Sun Java System Directory Server Enterprise Edition 6.3 Installation Guide』』の「Installing Directory Service Control Center From Zip Distribution」の説明に従って、Directory Service Control Center をインストールします。

DSEE については、『『Sun Java System Directory Server Enterprise Edition 6.3 Evaluation Guide』』を参照してください。DSEE の配備アーキテクチャーについては、『『Sun Java System Directory Server Enterprise Edition 6.3 Deployment Planning Guide』』を参照してください。

## Web Server のインストール

Java ES 6 において Web Server 7.0 Update 4 は、ZIP 形式の配布にパッケージ化されてファイルベースのフォーマットで提供されます。このフォーマットは、次のプラットフォームに対応しています。

- Solaris 10 (SPARC、x86、および AMD x64 プラットフォーム版)
- Solaris 9 (SPARC および x86 プラットフォーム版)
- OpenSolaris 2008.11 (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- Red Hat Enterprise Linux 3.0 x86 プラットフォーム版 (最小バージョン: 3.0 Update 4)
- Red Hat Enterprise Linux 4.0 および 5.0 (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- SuSE Linux Enterprise Server 10 AMD x64 プラットフォーム版 (最小バージョン: 10 SP2)
- SuSE Linux Enterprise Server 9 (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- HP-UX 11i v1 (B.11.11)
- AIX 5.3 および 6.1
- Microsoft Windows 2000 Advanced Server SP4 (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- Microsoft Windows 2003 Enterprise Server (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- Microsoft Windows XP Professional Edition x86 および AMD x64 プラットフォーム版 (最小バージョン: SP2)

Web Server のインストールについては、『[『Sun Java System Web Server 7.0 Update 4 Installation and Migration Guide』](#)』を参照してください。

## Message Queue のインストール

Java ES 6 において Message Queue 4.3 は、プラットフォームごとに別のフォーマットで提供されません。

- パッケージベースのフォーマットは、次のプラットフォームに対応しています。
  - Solaris 10 (SPARC、x86、および x64 プラットフォーム版)
  - Solaris 9 (SPARC および x86 プラットフォーム版)
  - Red Hat Enterprise Linux AS および ES 3.0、4.0、および 5.0 (x86 および x64 プラットフォーム版)
- ファイルベースのフォーマットは、次のプラットフォームに対応しています。
  - AIX 6.1
  - Microsoft Windows 2000 Advanced Server SP4 (x86 プラットフォーム版)
  - Microsoft Windows 2003 Server Standard Edition SP2 および Enterprise Edition SP2 (x86 および x64 プラットフォーム版)
  - Microsoft Windows 2008 Server Standard Edition SP2 および Enterprise Edition SP2 (x86 および x64 プラットフォーム版)
  - Microsoft Windows XP Professional Edition SP2 (x86 プラットフォーム版)
  - Microsoft Windows Vista

Message Queue のインストールについては、『[『Sun Java System Message Queue 4.3 Installation Guide』](#)』を参照してください。

Message Queue とその配備アーキテクチャーについては、『[『Sun Java System Message Queue 4.3 Technical Overview』](#)』を参照してください。

# GlassFish Enterprise Server のインストール

Java ES 6 において GlassFish Enterprise Server 2.1 は、ZIP 形式の配布にパッケージ化されてファイルベースのフォーマットで提供されます。このフォーマットは、次のプラットフォームに対応しています。

- Solaris 10 (SPARC、x86、および x64 プラットフォーム版)
- Solaris 9 (SPARC および x86 プラットフォーム版)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (x86 および x64 プラットフォーム版)
- Red Hat Enterprise Linux 3.0 Update 1 および Red Hat Enterprise Linux 4.0 (x86 プラットフォーム版)
- SuSE Linux Enterprise Server 10 SP1 (x86 および x64 プラットフォーム版)
- AIX 5.2 および 5.3
- Microsoft Windows 2000 SP4、2000 Advanced Server SP4、Server 2003、Server 2008、XP Professional Edition SP1、Vista、および 2008

GlassFish Enterprise Server のインストールについては、『[『Sun GlassFish Enterprise Server 2.1 Installation Guide』](#)』を参照してください。

GlassFish Enterprise Server の配備アーキテクチャーについては、『[『Sun GlassFish Enterprise Server 2.1 Deployment Planning Guide』](#)』を参照してください。

# Web Proxy Server のインストール

Java ES 6 において Web Proxy Server 4.0.8 は、ZIP 形式の配布にパッケージ化されてファイルベースのフォーマットで提供されます。このフォーマットは、次のプラットフォームに対応しています。

- Solaris 10 (SPARC、x86、および AMD x64 プラットフォーム版)
- Solaris 9 (SPARC および x86 プラットフォーム版)
- Solaris 8 (SPARC プラットフォーム版)
- Red Hat Enterprise Linux AS 3.0 x86 プラットフォーム版 (最小バージョン: 3.0 Update 4)
- Red Hat Enterprise Linux AS 4.0 x86 プラットフォーム版 (最小バージョン: 4.0 Update 2)
- HP-UX 11i (11.11)
- Microsoft Windows 2000 Server SP4 および Advanced Server
- Microsoft Windows 2003 Enterprise Edition

Web Proxy Server のインストールについては、『[『Sun Java System Web Proxy Server 4.0.8 Installation and Migration Guide』](#)』を参照してください。

# OpenSSO Enterprise のインストール

Java ES 6 において OpenSSO Enterprise 8.0 は、ZIP 形式の配布にパッケージ化されてファイルベースのフォーマットで提供されます。このフォーマットは、次のプラットフォームに対応しています。

- Solaris 10 (SPARC、x86、および x64 プラットフォーム版)
- Solaris 9 (SPARC、x86 および x64 プラットフォーム版)
- OpenSolaris
- Red Hat Enterprise Linux 5 (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- Red Hat Enterprise Linux 4 (x86 および AMD x64 プラットフォーム版)
- Ubuntu Linux 8.0.4
- AIX 5.3
- Microsoft Windows Server 2003 Standard、Enterprise、および Datacenter Editions

- Microsoft Windows Server 2003 R2 (x64 プラットフォーム版)
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows 2008 Server

OpenSSO Enterprise のインストールについては、『『[Sun OpenSSO Enterprise 8.0 Installation and Configuration Guide](#)』』を参照してください。

OpenSSO Enterprise については、『『[Sun OpenSSO Enterprise 8.0 Technical Overview](#)』』を参照してください。OpenSSO Enterprise の配備アーキテクチャーについては、『『[Sun OpenSSO Enterprise 8.0 Deployment Planning Guide](#)』』を参照してください。

## GlassFish Web Space Server のインストール

Java ES 6 において GlassFish Web Space Server 10.0 は、ZIP 形式の配布にパッケージ化されてファイルベースのフォーマットで提供されます。このフォーマットは、次のプラットフォームに対応しています。

- Solaris 10 (SPARC および x86 プラットフォーム版)
- OpenSolaris x86 および x64 プラットフォーム版 (最小バージョン: 2008.05)
- Red Hat Enterprise Linux 5
- SuSE Linux Enterprise Server 10
- OpenSuSE Linux 11
- Ubuntu Linux 8
- Microsoft Windows Server 2003 Server、XP Professional、および Vista (x86 プラットフォーム版)
- Mac OS X (最小バージョン: 10.4)

GlassFish Web Space Server のインストールについては、『『[Sun GlassFish Web Space Server 10.0 Installation and Getting Started Guide](#)』』を参照してください。

## Java ES 6 のドキュメント

Java ES 6 および Java ES 6 の製品に関するドキュメントは、[docs.sun.com](http://docs.sun.com) の次のコレクションで参照できます。

- リリースノート: [docs.sun.com/coll/1315.4](http://docs.sun.com/coll/1315.4)
- システムレベルのインストール、アップグレード、および相互運用性に関するドキュメント: [docs.sun.com/coll/1286.4](http://docs.sun.com/coll/1286.4)
- 各製品マニュアルのコレクション: [docs.sun.com/prod/entsys.6](http://docs.sun.com/prod/entsys.6)

また、その他の種類のドキュメントは次のサイトで探すことができます。

- BigAdmin 上の Java ES の情報ハブ: [sun.com/bigadmin/hubs/javaes](http://sun.com/bigadmin/hubs/javaes)
- Java ES の相互運用性に関するサイト: [wikis.sun.com/display/Interoperability](http://wikis.sun.com/display/Interoperability)
- Java ES のフォーラム: [forums.sun.com/forum.jspa?forumID=872](http://forums.sun.com/forum.jspa?forumID=872)

## マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun の Web サイトには、次に示す関連情報が示されています。

- ドキュメント (<http://www.sun.com/documentation/>)
- サポート (<http://www.sun.com/support/>)
- トレーニング (<http://www.sun.com/training/>)

## Sun 製品資料の検索

Sun 製品マニュアルは docs.sun.com<sup>SM</sup> Web サイトで検索できるだけでなく、検索エンジンの検索フィールドに次の構文を入力することによっても検索できます。

```
search-term site:docs.sun.com
```

たとえば、「ブローカ」を検索する場合は、次のように入力します。

```
broker site:docs.sun.com
```

検索に [java.sun.com](http://java.sun.com)、[www.sun.com](http://www.sun.com)、[developers.sun.com](http://developers.sun.com) などほかの Sun Web サイトも含めるには、「docs.sun.com」の代わりに「sun.com」を検索フィールドに入力します。

## 第三者の Web サイト参照

このマニュアル内で参照している第三者の URL は、追加の関連情報を提供します。

---

注 - このドキュメント内で引用する第三者の Web サイトの可用性について Sun は責任を負いません。こうしたサイトやリソース上の、またはこれらを通じて利用可能な、コンテンツ、広告、製品、その他の素材について、Sun は推奨しているわけではなく、Sun はいかなる責任も負いません。こうしたサイトやリソース上の、またはこれらを経由して利用可能な、コンテンツ、製品、サービスを利用または信頼したことに伴って発生した、あるいは発生したと主張されるいかなる損害や損失についても、Sun は一切の責任を負いません。

---

## このマニュアルに関するコメント

弊社では、マニュアルの改善に努めており、お客様からのコメントおよびご忠告をお受けしております。ご意見をお寄せいただくには、<http://docs.sun.com> にアクセスして、「Feedback」をクリックしてください。

## 改訂履歴

バージョン	日付	変更点の説明
10	2009年4月	最終リリースバージョン

Copyright 2009 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Sun Microsystems, Inc. は、この文書に記載された製品に含まれるテクノロジーに関する知的所有権を保持しています。特に、この知的財産権はひとつかそれ以上の米国における特許、あるいは米国およびその他の国において申請中の特許を含んでいることがあります。それらに限定されるものではありません。

U.S. Government Rights – Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

この配布には、第三者が開発したソフトウェアが含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPEN LOOK および Sun<sup>TM</sup> Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK のグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国 Sun Microsystems 社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書で言及されている製品や含まれている情報は、米国輸出規制法で規制されるものであり、その他の国の輸出入に関する法律の対象となることがあります。核、ミサイル、化学あるいは生物兵器、原子力の海洋輸送手段への使用は、直接および間接を問わず厳しく禁止されています。米国の輸出禁止国へ輸出または再輸出すること、および米国輸出制限対象リスト（輸出が禁止されている個人リスト、特別に指定された国籍者リストを含むが、それらに限定されない）に指定された団体に輸出または再輸出することは一切禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示的保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

820-7998-10

Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A.

